

広報

の

はしかみ 9

—ゆめ みらい 心ときめくふるさとづくり—

死亡事故ゼロ3年達成を記念して
交通安全啓発集会

交通安全啓発集会
死亡事故ゼロ3年達成

死亡事故ゼロ3年達成

8月31日、町は、交通死亡事故ゼロ3年を達成しました。9月1日、関係者約50人が集まり、セレモニーを行い、交通安全の誓いを新たにしました。

庁舎前でくす玉を開く関係者と中央保育園園児

主な話題

- いちご煮祭りにぎわう 2
- 地デジの準備お済みですか 8
- 八戸市の子育て支援事業を利用できません 10
- 議会だより 20
- 県消防操法大会で準優勝 28

いちご煮祭り 大勢の来場者でにぎわっ

過去最多二日間で4万5千人の人出

七月二十四、二十五日の二日間、小舟渡海岸で第二十五回いちご煮祭りが開催されました。

両日とも好天に恵まれ、町内外から大勢の来場者が訪れ、次々と、町の特産品であるいちご煮を買い求め、提供店の前には行列が出来ていました。また、多彩なステージイベントや、磯遊びなど、思

い思いに楽しむ姿があちこちで見られました。

十和田市から来た下屋敷幸子さんは「いちご煮目当てに来ました。ウニがたくさん入っていておいしいです。幸せ」とにっこり。

今年、町制施行三十周年を記念し、船団パレードが復活。十六隻の船が連なり、大漁旗をなびかせながら、勇壮

なパレードを披露しました。また、今回は小舟渡漁港で、

ウニ、アワビ、ホヤなどの直売も行われました。新鮮で値段も市場より安いとあって、来場者らは、品定めをしながら、次々と買い求めています。

夜には、花火大会も行われ、夜空を彩る大輪の花火に歓声が上がっていました。



1. いちご煮を味わう来場者
2. 歌とトークで会場を沸かせた松原のぶえショー
3. 廿一平を埋めつくした大勢の来場者
4. 新鮮な海の幸を求めてにぎわった、小舟渡漁港の直売会場

階上売り込み隊が始動 階上の魅力をPR

六月に結成されたボランティア観光ガイド「階上売り込み隊」が、七月二十四日、JR東日本主催の「駅からハイキング」で、県内外から参加した三十四人をガイドし、町の魅力を紹介しました。

この日は、四人のガイドがお揃いのベストを身につけ、ハンズフリーの拡声器を使って、階上駅へ小舟渡海岸へ大蛇駅までを、県境石、赤石大明神堂、榊津波記念碑などの名所を紹介しながら歩きました。



名所を紹介して歩く売り込み隊員



「とってもおいしい」。いちご煮を味わう参加者

昼食はいちご煮祭りの会場。東京から参加した、今井静子さんは「階上町は初めて。今まで食べた中で一番おいしい」とにっこり。また、埼玉から夫婦で参加した方は「階上町はいいところですね。地元の人じゃないとわからない」と、満喫していました。

有谷升会長は「歩きながらの説明はタイミンが難しいが、楽しんでもらえたようだ」と手ごたえを感じた様子でした。

夏の夜に踊りの輪が広がる

階上町盆踊り大会が盛大に開催される

八月二十二日、ハートフルプラザ・はしかみの駐車場で、町制施行三十周年を記念した、階上町盆踊り大会（階上町盆踊り愛好会主催）が開催

された。町制施行二十周年以来十年ぶりの開催で、今回は、町民有志により企画されたもの。

開会セレモニーでは、主催者を代表して、小沢勝司会長

が「町制施行三十周年を祝いながら、盆踊りを楽しみ、町民の連携、絆を強めてほしい」とあいさつ。

団体踊りには、町内学区単位、連合婦人会、役場職員など十一チームが出場。色とりどりの浴衣に身を包み、息の合った踊りに、会場からは大きな拍手が送られています。

一般踊りでは、やぐらの周りに、何重にも輪を作り、階上小唄やナニヤドヤラ、八幡馬、相馬盆歌などの踊りを楽しみ、会場は熱気に包まれました。

また、用意していたうちわ五百枚があつという間になくなるほどの盛況ぶりです。約七百人が夏の夜のひとときを楽しんでいました。



1. 息の合った踊りで会場を魅了した団体踊り。色とりどりの浴衣や、仮装して出場するなど、各チームとも趣向を凝らし、来場者を楽しませた
2. 老若男女が参加した一般踊り。やぐらの周りには、四重、五重の輪ができた

役場前交差点の渋滞が解消

国道45号役場前交差点改良懇談会

役場前国道交差点の渋滞解消に向けた、右折ポケット設置などの改良工事が完了し、八月六日、役場会議室で第三回目の懇談会が開催されました。

当交差点は、右折専用レーンが未設置なことなどから、朝夕の渋滞や交通事故が発生しており、以前より交通安全対策の実施が望まれていたもので、昨年の九、十一月に国土交通省と町、地域住民代表者らによる懇談会で改良案を選定し、進められていたもの。

懇談会では、改良後の効果について国土交通省より説明があり、対策前は朝のピーク時で百六十秒の滞留長、五十五秒の通過時間だったものが、改良後は滞留長四十秒、通過時間八秒と、右折待ち車両による滞留が解消されました。

委員からは「車の流れが良くなった」「周辺店舗への出入りがスムーズになった」など、改良したことで効果が出ているという意見が多く出されました。



改良現場を確認する委員



右折ポケットができ、流れがスムーズになった

感謝の気持ちでいっぱい 甲子園出場の二人が報告とお礼

第92回全国高等学校野球選手権大会に出場した、工大一の下畑大輝君と宮崎隆輝君の二人が、8月19日、試合の報告とお礼に役場を訪れました。

工大一は初戦、香川の英明に8対4で快勝し、夏の甲子園初勝利をあげました。続く2回戦では千葉の成田に2対10と敗れてしまいましたが、笑顔で最後まで頑張りぬく姿は町民はじめ、多くの県民に感動を与えました。

浜谷町長は「甲子園でプレーしたことは、誇り、自信になる、これからも頑張ってください」とねぎらいました。

下畑君は「甲子園のグラウンドは中に入ると広く感じたが、緊張はしなかった。自分たちだけでなく、周りの人達の力があつたからこそ1勝だと思う」。宮崎君は「甲子園特有の浜風を体験し、守っていても楽しかった。苦しい練習に耐え、仲間と一緒に甲子園の土をふめてうれしかった。悔いはありません」と甲子園でプレーした感想を話していました。



「感謝の気持ちでいっぱい」と、二人のサインが書かれたボール入りフォトスタンドと出場校が書かれた記念ペナントを浜谷豊美町長に贈る下畑大輝君(左)と、宮崎隆輝君(右)。今後の二人の活躍を期待します。

2年連続V レスリング全国大会で活躍

道仏小学校4年生の伏部内まこさんが、第27回全国少年少女レスリング選手権大会(7月23日～25日、広島市)に出場し、4年36キロ超級で、昨年に続く、2年連続優勝を手に入れました。

伏部内さんは「準決勝で初めてポイントをとられたので、びっくりしたけど、決勝では、絶対勝ってやるという気持ちで、最後まであきらめずに全力で頑張った」と試合を振り返り、「優勝できてうれしい。来年も優勝して3連覇を目指したい」と次の目標を力強く話してくれました。

所属する八戸クラブでの練習は「厳しいけど楽しい」という伏部内さん。今後の活躍を期待します。

2年連続Vを飾った伏部内まこさん



港湾建設事業が評価 海事関係功労者として大臣表彰受賞

佐京忠史さん(小舟渡)が、海事関係功労者として、7月20日、国土交通大臣表彰を受賞しました。毎年7月の海の月間に合わせて、海事関係の功労者を表彰しているもので、佐京さんは、水中土木工事を手掛ける佐京海事興業社長として、港湾建設事業の振興に努めた功績が認められたものです。

佐京さんは東京での表彰式に出席。「時間がたつにつれ、大きな賞をいただいた事を実感してきた。今後は、若い人達への指導にあたり、より一層、後進の育成にも力をそそいでいきたい」と気持ちを新たにしていました。



大臣表彰を受賞した佐京忠史さん

階上スイーツを共同で開発 試食会を開催

八戸大学ビジネス学部の学生と菓子店ラ・ドゥルセリア美松が共同で開発した階上スイーツの試食会が、8月23日、ハートフルプラザで開催されました。同学部は、地域資源を活用した商品開発をしようと、自然志向、健康志向に配慮し、ひえやあわなどの雑穀と、ヤマブドウやハマナスなど市場に出回らない果実を原料とした製品づくりに4月から取り組み、5種7品の試作品が完成しました。

参加者からは「甘さ控えめでおいしい」と好評でした。

開発に携わった八戸大学4年の小坂一平さんは「階上町をとことん調べ、階上という地域を知ることができた。階上を代表するようなスイーツになってくれれば」。美松の小松國男代表は「町にはまだまだ食材がある。今後も改良を重ね、開発していきたい」と話していました。

階上スイーツは、9月から、美松、道の駅はしかみで試験販売される予定です。



(上) 町内外から関係者約30人が参加し、試食した

(左) 階上早生ソバの実などを混ぜたもち米を小豆、エゴマ、カボチャあんで包んだおはぎ、古代米を使用した皮とハマナスの実をクリームに使用したシュークリーム、ブルーベリーのロールケーキ、ヤマブドウのムースケーキ、アマランサスやガマズミを生地にしたカスタードケーキ

先祖のみ霊を供養 赤保内駒踊り組が墓念仏

8月13日のお盆の入り、赤保内青年駒踊り組（茨島稔代表）は、野沢地区と赤保内田端の共同墓地で、恒例の墓念仏を行いました。

初盆を迎えた3組の家族の墓前で、約30分念仏を唱え、故人のみ霊を供養し、訪れた家族らは手を合わせ、静かに祈っていました。その後は、墓地の周りを念仏踊りで舞い歩き、周辺にはもの悲しい笛の音が響きました。

茨島稔代表は、「昔ながらの形が継承されている念仏。数種類の念仏があり、故人に合わせた念仏を唱えている」と話していました。



墓念仏を行う赤保内駒踊り組

上手にできたかな？ 道仏小児童が一升マス作りに挑戦

7月20日、道仏小学校（梅村千鶴子校長）の4学年児童26人が、昔の道具作りとして一升マス作りに挑戦しました。

地元建設業者の大工さんら7人がボランティアで指導。ほとんどの児童が金づちを持ったことがないとあって、手を添ってもらいながら、くぎ打ちややすりをかける作業などをしました。

南歌音^{かのん}さんは、「くぎ打ちが難しかったけど、きれいに出来上がった」と仕上がりに満足げ。児童らは出来上がった一升マスで早速水を量るなどして出来栄をチェックしていました。



ドリルでの穴あけにも挑戦

階上町防犯・交通安全少年球技大会

8月3日、4日の2日間、赤保内小学校を主会場に、第40回階上町防犯・交通安全少年球技大会が開催されました。

開会式では、小舟渡小学校の佐京昂亮君と石鉢小学校の大久保美波さん（ともに6年）が、「鍛え上げた心と技を十分に発揮し、元気はつらつとプレーし、最後まで全力で戦い抜くことを誓います」と元気よく宣誓。

7競技8部門で、町内小中学生が日ごろの練習の成果を競いました。



1. 小学校ユニホック 2. 小学校ミニバスケットボール（大蛇シャークス対赤保内レッドハーツ） 3. 小学校野球（石鉢クラブA対赤保内SAMURAIレイダース） 4. 中学校ソフトテニス（道仏中） 5. 中学校野球（階上中）

大会結果

| 小学校野球の部 | | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------|-----------------|---------|
| (A トーナメント) | | | (B トーナメント) | | |
| 優勝 | 石鉢クラブA | 優勝 | 道仏アニマルズ | | |
| 準優勝 | 道仏ブルーダイヤモンドズ | 準優勝 | 石鉢クラブB | | |
| 3位 | 赤保内SAMURAIレイダース | | | | |
| 小学校ミニバスケットボールの部 | | | | | |
| (男子の部) | | (女子の部 A トーナメント) | | (女子の部 B トーナメント) | |
| 優勝 | 石鉢ダンスーズ | 優勝 | 大蛇シャークス | 優勝 | 赤保内セカンズ |
| 準優勝 | 赤保内イケメンズ | 準優勝 | 赤保内レッドハーツ | 準優勝 | 道小ミニーズ |
| 3位 | 赤保内レッドカーベッツ | 3位 | 道小アークス | | |
| 小学校ユニホックの部 | | 中学校野球の部 | | 中学校バスケットボールの部 | |
| 優勝 | 金山沢B | 優勝 | 道仏中学校 | 優勝 | 階上中学校 |
| 準優勝 | 階上A | 準優勝 | 階上中学校 | 準優勝 | 道仏中学校 |
| 3位 | 金山沢A | 中学校ソフトテニスの部 | | 中学校サッカーの部 | |
| | | 優勝 | 道仏中学校A | 優勝 | 階上中学校 |
| | | 準優勝 | 階上中学校A | 準優勝 | 道仏中学校 |





食生活上手になろう

子育て世代の食育講座

子育て中、孫育て中の方
ぜひご参加ください！

託児あります

■内 容

| 回 | 期日 | ①調理実習・実食 (10:00～12:45) | ②講話など (13:00～14:00) |
|---|---------------|--|---|
| 1 | 10月26日 (火) | 元気いっぱいお魚パワー 八戸保健所 管理栄養士 船渡めぐみ | 子どもの食べるチカラを育もう～乳幼児期の特徴と食生活～ 八戸保健所 管理栄養士 船渡めぐみ 階上保育園 理事長 松橋竹子 |
| 2 | 11月2日 (火) | 子どもの食事の困った！～思春期の特徴と食生活～ 八戸短期大学 ライフデザイン学科 准教授 佐藤千恵子 |  |
| 3 | 11月16日 (火) | なるほど！時短クッキングの裏ワザ 栄養士 岩見美恵子 | 知って安心 食の安全対策 八戸保健所 食品衛生監視員 |
| 4 | 11月30日 (火) | パンの朝食バランスアップ作戦 階上町食生活改善推進委員会 | 健康はしかり 21の取り組み 保健福祉課 保健師 |
| 5 | 12月7日 (火) | 野菜ソムリエ やさいをもっとおいしく&カラダキレイ術 野菜ソムリエ (フードクリニック nagisa café) 主宰 下田尚子 |  |

■会 場 石鉢ふれあい交流館

■対 象 町内在住の方。性別・年齢は問いません。

■受講料 ①テキスト代 500円

②食材料費 (各回約 300円程度)

■申し込み 10月20日(水)までに、①氏名②住所③電話番号④託児希望の有無を保健福祉課までお知らせ下さい。
町ホームページからも申し込みできます。

【申し込み・問い合わせ】保健福祉課健康増進グループ ☎88-2219

この講座は階上町食生活改善推進員養成講座を兼ねています。

講座修了後、希望者は階上町食生活改善推進員会に入会できます。

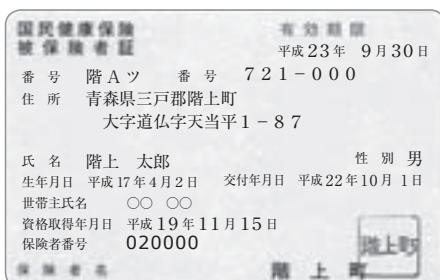
国保からのお知らせ

【問】保健福祉課健康増進グループ ☎88-2219

■保険証が更新になります

新しい国保の保険証を9月30日(木)までに各世帯に郵送します。有効期限の切れた保険証は、保健福祉課へ返却するか、氏名などが確認できないようにして破棄してください。

国保税の滞納世帯には有効期限の短い「短期被保険者証」または「資格証明書」が交付されます。



保険証に「臓器提供意思表示欄」が設けられました

<意思表示の方法>

保険証裏面に直接ボールペンで記入して下さい。記入内容を他人に知られたくない場合は、同封の個人情報保護シールを貼り付けてください。

※記入は義務ではありません。

■保険の切り替え手続きを忘れずに

①国保→社会保険

・印鑑、新しい社保の被保険者証(全員分)、国保の保険証が必要です

②社会保険→国保

・印鑑、健康保険喪失証明書が必要です。(65歳未満で厚生年金など、国民年金以外の年金を受給している方は、年金証書が必要)

アナログ放送は、23年7月24日までに終了します 地上デジタル放送への切り替えはお済みですか



アナログ放送は、23年7月24日正午にすべての放送が終了（完全停波）します。

テレビ画面右上に「アナログ」と表示されているテレビをご覧の方は、早めにデジタル放送対応機器・設備への切り替えをお願いします。

地デジを見るには？

■ UHF アンテナがついているかを確認

すでに UHF アンテナがついている場合は、そのままでもおおむね受信できますが、ついていない場合は、新たに UHF アンテナを設置する必要があります。

■ デジタル受信機器を用意

- ・今使っているテレビで見たい方は
デジタルチューナーかデジタルチューナー内蔵録画機器を買い足さなければなりません。
(画質は今のままです)
- ・テレビを買い換えたい方は
「地上デジタルテレビ」に買い替えます。
(きれいな映像が見られます)

* デジタルテレビ購入支援のための、エコポイントによる購入期限は本年 12 月末まで！お早めにご利用ください。エコポイントはアンテナ工事にもご利用できます。

悪質商法にご注意を！

地デジ対応やアンテナ交換などを口実にした詐欺が発生しています。身におぼえのない工事や代金請求にはご注意ください！

○道仏中継局が設置されます

道仏地区周辺の難視を解消するため、現在道仏中継局が工事中です。開局は 11 月ごろを予定しています。

○地デジ相談会を開催予定です

11月下旬に、庁舎内で相談会を実施予定です。決まり次第広報等でお知らせします。

【問】総務課総務グループ ☎ 88-2112

【地デジについての相談・問い合わせ】

総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）
地デジコールセンター ☎0570-07-0101
デジサポ青森 ☎017-771-1010
<http://digisuppo.jp/>

地上デジタル放送受信のための支援をします

経済的理由などで地デジに移行することが難しい方に

■支援の内容

- ・地デジ放送を受信するための、「簡易なチューナー（1台）」を無償で給付します。
- ・必要に応じたアンテナ改修など、共同受信施設の改修経費の支援を行います。

※現物給付です。ご自身で購入したチューナー、アンテナなどの費用は清算できません。

■支援対象

生活保護世帯や、障がい者非課税世帯などの NHK 放送受信料が全額免除となっている世帯。

※すでに地上デジタル放送が視聴できる環境にある世帯については、本支援の対象外です。

23年度の支援については現在未定です

■受付は12月28日（火）まで（消印有効）

天候不順などの理由で支援が遅れることがあります。お早めにお申し込みください。

■申し込み方法

申込書に NHK から送付された「受信料全額免除証明書」を同封し、総務省地デジチューナー支援センターまで直接お申し込みください。

申込用紙は保健福祉課と各 NHK 放送局の窓口を用意しています。

【問い合わせ】

総務省地デジチューナー支援実施センター ☎0570-033840
NHK視聴者コールセンター ☎0570-000588
保健福祉課福祉グループ ☎88-2641

第3回

はしかみ いきいきフェスティバル

町制施行 30 周年記念

もしもの時をみんなで考えよう！

10月11日 体育の日 10:00

会場：ハートフルプラザ・はしかみ

講演

「災害から命と暮らしを守るために…
自主防災組織に何ができるか？」

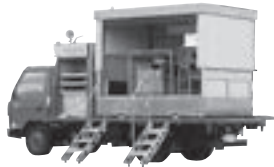
講師 災害ボランティア活動支援
プロジェクト会議事務局 **石井 布紀子氏**

訓練
実演

- 災害伝言ダイヤルについて (NTT)
- 消防団による操法披露
- 自主防災組織による訓練

<同時開催>

起震車体験
非常食(炊き出し)の試食



■申し込み

ホームページ、ファックス、電話、直接窓口へ
9月24日(金)までにお申し込みください。

(当日参加も可能です)

【申し込み・問い合わせ】

総務課企画財政グループ

TEL 88-2113 / FAX 88-2117

E-mail hashikami01@net.pref.aomori.jp

おめでとう！河川道路愛護団体表彰

8月31日、長年道路の愛護活動に功績があったとして、蒼前行政区（国土交通大臣表彰）と青森銀行階上支店（東北地方整備局長表彰）が受賞しました。

両団体とも、30年近くにわたり、毎年国道沿線に、花いっぱい運動として花壇整備をしています。



青森河川国道事務所で行われた表彰式（八戸管内受賞者）。前列左から2番目が一戸重明蒼前行政区長、3番目が金崎直樹青森銀行階上支店長

宝くじの助成金で防災資材を整備

耳ヶ吠東自主防災組織が、(財)自治総合センターの「コミュニティ助成事業（宝くじ助成事業）」を活用して、防災資材を整備しました。

助成を受けて購入した備品は、地域の防災活動に役立てられます。



消火器、ヘルメット、毛布、給水タンク、レスキューセットなど



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

コミュニティ助成事業：(財)自治総合センターが宝くじの普及広報費用を財源として、地域による活動に必要な施設や用具などを助成する制度

八戸市の子育て支援事業を 利用できるようになりました

八戸圏域定住自立圏共生ビジョン

「八戸圏域定住自立圏共生ビジョン」策定に伴い、子育て支援の充実を図るため、八戸市の次の事業について、利用対象区域が階上町まで拡大されました。お気軽にご利用ください。



■利用対象が拡大された事業

| 事業名 | 内 容 | 備 考 |
|---------------|--|--|
| 子育てサロン事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんのしゃべり場。 ・市内 21 地区の公民館、児童館などで実施 | 概ね月 1 回程度 サロンごとに実施日が異なります。 |
| 一時預かり事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、一時的に、あるいは週 3 日程度の範囲内で、お子さんを預かるサービス。 ・お母さんの心身のリフレッシュのために利用することもできます。 ・市内 14 地区、37 保育園で実施 | 要事前申し込み 利用料は、概ね 1 時間あたり 300 円程度 |
| 休日保育事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・日曜日や祝日に勤務する方のための保育サービス。 ・市内 8 地区、11 保育園で実施 | 概ね 7 時～ 20 時 要事前申し込み |
| 地域子育て支援センター事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせや親子遊び、季節の製作など、親子で楽しめます。 ・保育士による子育て相談、親子保育体験、園庭開放も実施しています。 ・八戸市内 15 カ所の認可保育園に設置 | 概ね週 3～5 日開催 開催日、時間などは各センターにより異なります。 |

■詳しくはこちらをご覧ください

- ・町ホームページの「お知らせ→各課からのお知らせ」に掲載しています。
- ・事業一覧表を、保健福祉課福祉グループ窓口にも設置しています。

■利用を希望される方へ

- ・直接各サロンまたは保育園にお申し込みください。
- ・利用料が必要となる場合もありますので、お申し込みの際にご確認下さい。

<八戸圏域定住自立圏>

八戸市を中心市とする周辺市町村（三戸郡とおいらせ町）で構成され、人口定住のために必要な生活機能の確保に向けて、昨年 9 月に定住自立圏形成協定が締結されました。

各分野において、中心市と周辺市町村が相互に役割分担をして連携を図るもので、「子育て支援の充実」もその取り組みの一つです。

【問い合わせ】

保健福祉課福祉グループ ☎88-2641

地域の子育てにご協力を！

子どもを、残業で保育園に迎えに行けない、買い物をしたいが連れて行くのは不便などの理由で、**子どもを預けたい方（依頼会員）に、協力できる方（提供会員）を募集しています。**

預かった場合は、謝礼として利用料 1 時間 500 円が依頼会員から支払われます。特別な資格は要りませんが、センターでの講習会の受講が必要です。

■提供会員登録説明会

- ・期日 9月28日（火）10:00～12:00
- ・場所 ハートフルプラザ・はしかみ

～子ども好きの方、子育て経験を生かしたい方、お気軽にお越しください！～

【問】八戸市ファミリーサポートセンター ☎71-2750
保健福祉課福祉グループ ☎88-2641

就園していないお子さんが対象です。気軽に参加して、親子で楽しみませんか。

<10月スケジュール>

♪ 地域子育て支援センター「らんらんる〜む」 ♪

| 期日 | 活動内容 |
|--------------------------------|--|
| 10/6 (水) | きれいな落ち葉をさがしましょ! 作って遊ぼう: 落ち葉のコースター |
| 10/13(水) | 輪とりゲームをしよう 作って遊ぼう: けん玉 |
| 10/19(火) | <子育て講座> 「知っておきたい病気と予防&ホームケアについて」 講師: 保健福祉課主査保健師 太田さおり ※要予約 ☎ 89-2302 (10/15 締切) ※同室託児します |
| 10/20(水) | どんぐり☆くり☆くるみ☆木の実をさがそう! 作って遊ぼう: 秋の実のプレート飾り |
| 10/27(水) | エプロンシアター&パネルシアター 作って遊ぼう: でんでんだいこ |
| ・場 所 階上保育園 (保育園向かい側駐車場をご利用下さい) | |
| ・時 間 10:00~12:00 | |

※9月の日程は広報8号に掲載しています。

🐱 子育てサークル「にこにこクラブ」 🐱

| 期日 | 活動内容 |
|----------|--|
| 10/15(金) | おさんぽ♪お花を見に出かけましょ う! ・時間 10:00 ~ 12:00 ・石鉢ふれあい交流館集合 (行き先: 町内) |

- 参加費は、子ども1人につき100円
- けがなどは自己責任です。注意して楽しい活動にしましょう。
- 天候、諸事情などにより、活動内容が変更になる場合があります。

【問い合わせ】

保健福祉課健康増進グループ ☎88-2219
階上保育園 (地域子育て支援センター) ☎89-2302



子ども手当の手続きをお忘れなく

4月1日から「児童手当」に代わり「子ども手当」制度が始まりました。

この制度は、所得額に関係なく、中学修了前（15歳に達する日以降の最初の3月31日）までの、子ども1人につき、月額13,000円を支給します。

<手続きは9月30日までに!>

▷ 9月30日までの手続き: 4月分からの認定(支給)となります。

▷ 10月1日以降の手続き: 手続きの翌月からの支給となります。(10月に手続き→11月分から支給)

■申請手続きが必要な方

- ・中学2、3年生がいる家庭で、児童手当を受給していなかった世帯
- ・所得制限で児童手当に該当しなかった世帯

■手続きに必要なもの

- ①印鑑(シャチハタ以外) ②請求者名義の通帳
 - ③請求者の保険証(社会保険に加入している方)
- ※公務員の方は児童手当と同様に職場での手続きとなります。

■支給月 6月、10月、2月

注意!

6月の現況届を提出していない方は、9月24日までに提出してください。

提出がない場合は、6月分以降(10月振込)の手当が支給停止となります。

【問い合わせ】保健福祉課福祉グループ ☎88-2641

こんにちは！町長室です⑧

階上町長 浜谷豊美



町制施行三十周年「いちご煮祭り」

～好評だった海産物直売所～

町の一大イベント「いちご煮祭り」は、好天にも恵まれ、大いにぎわいました。運営スタッフの皆さんには大変ご苦勞様でした。

この祭りは、本町が元祖であると自負している「いちご煮」をメインに、観光PRと産業（漁業）振興を指して開催し、二十五回を数え、今では多くの方々に来場していただけるまでになりました。



新鮮な海の幸を求めてにぎわった直売所

特に、今年は町制施行三十周年の節目にふさわしく、浜ならではのイベントにするため、関係各位が知恵を絞り、船団パレードの復活や、小舟渡漁港で海産物直売所を初めて開設しました。

直売所開設は、新鮮な階上産の海産物を広くPRするとともに、水産業の活性化になげたいという、町水産振興協議会の念願でもありました。この思いに二人の事業主さんが賛同、協賛出店をし、来客から好評であったということ、大変うれしく、協賛事業主さんはじめ水産振興協議会関係者に心から敬意を表します。今後も継続を願うとともに、協賛できる事業主や生産部会の積極的な出店により、より一層盛り上げてもらえるよう希望します。

図書室だより 今月のおすすめ本

○ハートフルプラザ・はしかみ

☎(88) 2522



『あんじゅう』
宮部みゆき 著
中央公論新社

○石鉢ふれあい交流館

☎(80) 1671



『結婚相手は抽選で』
垣谷美雨 著
双葉社

三島屋の行儀見習い、おちかのもとにやってくるお客さまは、みんな胸の内に「不思議」をしまっているのです。ほっこり温かく、ちよつと奇妙で、ぞおつと怖い、百物語。

○道仏公民館

☎(89) 2110



『みつばちハッチ
～勇気メロディ～』
内田ぼちぼち 外 著
毎日新聞社

ひとりぼっちの少女が出会ったのは、ママ探しの旅をつづけるミツバチ。
ゆけゆけハッチ！小さな友だちの大きな勇氣。いま、ふたりの大冒険がはじまる。

■貸出時間■

- ハートフルプラザ・はしかみ
9～19時（月～土、日・祝日）
- 道仏公民館
9～17時（月～金）
※土曜は15時まで
- 石鉢ふれあい交流館
9～19時（火～土、日・祝日）

■本を借りるには図書貸出券が必要です。その場で発行できますので身分証明証をご持参ください。（発行無料）

「抽選見合い結婚法」が制定された。対象は二十五～三十五歳までの男女。世界平和に貢献するための支援隊というが……。それぞれの見合い事情をコミカルに描く長編小説

(広告)

森のからこころ
 在宅介護・入所相談等
 介護に関するお悩みお受けいたします
 〒039-1212
 青森県三戸郡階上町蒼前西2丁目9-988
 Tel. 0178-88-2595
 Fax. 0178-88-2596

(広告)

検針業務にご協力を



安全に検針するため、メーターの位置から離れた場所に犬をつなぐようお願いいたします。

また、鎖の長さや首輪のゆるみなどもご確認ください。

【問】東北電力(株)八戸営業所料金課
☎ 43-5624

Hashikami 6

はしかみ物語 Story

町のイメージアップ拡大に向けて

町制を施行して十五年、町のイメージアップを図ろうと、町のシンボルやキャラクターが誕生しました。

○町の魚を制定

平成五年九月、当町沖で捕れる魚介類の消費拡大や観光漁業を含め、より一層の漁業振興を図るため、「町の魚選定委員会」が発足。町の魚に何

がふさわしいか、町内全世帯にアンケート調査も行われ、委員会で、アンケートで七十五割がアブラメと回答したことや、年間を通じて漁業者や遊魚船などで多く漁獲されていることから、アブラメを町の魚にすることを答

申しました。町では、翌六年三月二十二日に「クリエイティブ・アブ

ラメイン町民フォーラム」を開催。「町の魚制定書に署名」告示され、「町の魚・アブラメ」が誕生しました。

フォーラムでは、県や町の漁業関係者らによる話し合いや、子どもたちによるアブラメ稚魚の放流、アブラメ料理の試食などが行われました。

町のシンボルといえば、花、木、鳥が主ですが、魚まで制定されているのは珍しく、県内では横浜町（なまこ）と、階上町だけです。

○シンボルキャラクター誕生

平成十二年、町制施行二十周年を迎えた階上町は、二十世紀に向けての飛躍の年とするため、記念式典や子ども議会、ナニヤドヤラ盆踊り大会、講演会など、多彩な記念事業が行われました。

その中で、二十周年という節目を記念し、今後の町のイメージアップにつなげていくと、階上町をイメージさせるキャラクターを広く募集し

ました。町内外から四十二点の応募があり、青森市のデザイナ―盛秀雄さんの作品が特選に選ばれました。

キャラクターの愛称は「はしかみキッズ」。町特産のウニ、ツツジ、アブラメをモチーフに、「かぜ丸（かぜ丸うに）、つつじ姫、あぶらめくん」の三人が誕生しました。二十世紀を担う子どもたちをイメージし、親しみやすく活発で自由に動き回り、町のアイドル的存在のキャラクターとして活躍が期待されました。

キッズ誕生後は、イベントTシャツやのぼり、チラシやポスターなど、町のさまざまな行事のPRに登場し、すっかり町の「アイドル」として定着しています。

三十周年を迎えた今年、はしかみキッズの着せ替えバージョンを募集し、今後さまざまなシーンにぴったりのキッズが登場予定。より一層町のPRに活躍してくれそうです。



アブラメは標準語で「アイナメ」だが、地元住民からは「アブラメ」と呼ばれ親しまれている。春と晩秋に岸辺に寄り付き、比較的釣りやすいポピュラーな存在だが、脂肪の多いその白身は、刺身、焼き物、煮物、みそ汁、唐揚げ、鍋物など、さまざまな料理で味わえる



平成 12 年 12 月に制定された「はしかみキッズ」。左からかぜ丸、つつじ姫、あぶらめくん

お知らせ

浄化槽を正しく使いましよう

浄化槽は、微生物の働きを利用して汚水を浄化するため、適正な管理が必要です。次のことが義務付けられています

- ① 定期的な保守点検
- ② 年1回の清掃
- ③ 法定検査の受検（使用開始後および年1回）

■法定検査

浄化槽が適正に維持管理され、本来の浄化機能が十分発揮されているかを判定するもので、社団法人青森県浄化検査センター（☎017-726-9500）が行います。

■浄化槽の使用開始時や廃止時、所有者の変更時には、届け出が必要です

八戸環境管理事務所

☎（51）19000

【問い合わせ】

建設課下水道グループ

☎（88）21200



講習会

屋外広告物講習会を開催します

県では、屋外広告業者を対象に、屋外広告物法などの必要な知識の修得を目的とした講習会を開催します。

講習会修了者は「業務主任者」の資格を取得できます。

■期日 10月13日（水）～14日（木）

■場所 県庁西棟8階中会議室

■申込締切 9月30日（木）

■講習料 4千円

【申し込み・問い合わせ】

青森県都市計画課都市計画・

景観グループ

☎017（734）9681

ホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/life/keikan/keikan.html>

調査

汚水処理アンケート調査を実施します

各家庭における汚水処理状況を把握し、快適な生活環境や健全な水環境の形成を推進していくため、アンケート調査を実施します。

後日、担当員がアンケート用紙の配布と回収に伺いま

す。ご協力お願いします。
【問い合わせ】
建設課下水道グループ

☎（88）21200



相談

10月1日～7日は
公証週間です

法務省と日本公証人連合会
は、10月1日から7日まで、「公証週間」を実施します。

■公証役場

遺言、離婚時の年金分割などの公正証書の作成や、会社の定款、海外に提出する書類の認証などを行う、国の機関です。

■公証制度を理解していただくため、常時、無料相談や無料出前講座などを実施しています。お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】

八戸公証役場（八戸市廿三日町28 八戸ウエストビル

201）

☎（43）1213

10月1日は 国勢調査 の日です！

国勢調査は、日本に住む全ての方を対象とする、5年に1度の重要な統計調査です

- 9月下旬から調査員が皆さんのお宅に伺い、調査票をお配りします。
- 調査票がお手元に届いたら、10月1日現在の皆さんの状況を漏れなく記入して下さい。



国勢調査は
日本の未来、地域のまちづくりのための、基礎資料になります！
ご協力をお願いします！

※統計法では、調査対象者に対し、調査票に記入して提出する義務（報告義務）を定めています。

調査票は郵送でも提出できます

- 調査票の提出は、調査員が訪問した際にお渡しください。
- 不在などで都合のつかない場合は、**10月5日（火）までに** 同封の「郵送提出用封筒」に調査票を入れ、最寄りの郵便ポストにご投函ください。（切手不要）

【問】 総務課企画財政グループ ☎ 88-2113

開催します

**自転車ロードレース
大会(交通規制にご
協力を)**

第35回青森県高等学校新人
自転車道路競走選手権大会が
開催されます。選手団が通過
する際、一時交通規制を行っ
ますので、ご協力よろしくお
願います。

■期日 10月10日(日)

10時～13時

スタート時間

男子 10時(5周70^キ)

女子 10時1分(1周14^キ)

■選手 県内選出の高校生約
40人

■コース フォレストピア階
上前をスタート、ゴールとす
る1周14^キ

西鳥屋部(登山口) ↓新田
↓金山沢 ↓野場 ↓小松倉 ↓
登切 ↓引敷林 ↓西鳥屋部

【問い合わせ】

青森県高体連自転車競技専門
部 八戸工業高等学校内

秋田春樹

☎(22) 7348



募集

**青い森ファンド
23年度助成事業**

青森県民が行うボランティア
活動への資金援助を通じ
て、ボランティア活動などの
健全な発展を図ることを目的
に青森県が資金を拠出して設
立された基金です。

※今年度で最後の募集です。

■助成対象者 県内でボラン
ティア活動など(ボランティア

活動を始めとする自由な社
会貢献活動としての特定非営
利活動その他自発的に行われ
る公益的な活動)を行う個
人・団体・グループ

■助成額および選考方法

- ① Aコース 1万円～10万円
(1万円単位、活動費の5分
の5を限度)・書類審査
- ② Bコース 11万円～100
万円(1万円単位、活動費の
5分の4を限度)・公開審査
会(コンペ)

■助成期間 単年度助成

■締め切り 9月30日(木)

【問い合わせ】

公益信託青森県ボランティ
ア基金(受託者三菱UFJ信
託銀行)

☎03(6255)4596

募集

**青森県立八戸工科学
院 23年度学生**

■応募資格

志望科に対する興味と強い
就職意識を有する高等学校卒
業者(23年3月卒業見込みの
者を含む)

■募集科目・定員

- ①機械システム工学科 25名
 - ②設備システム工学科 20名
 - ③自動車システム工学科 30名
 - ④制御システム工学科 25名
- ※修業年限は2年

■受付期間

10月8日(金)～11月11日
(木)

■試験日

11月18日(木)

■入学に関する経費

授業料年額11万8千800
円、教科書代など、2年間で
9～14万、資格取得受験料な
どは実費。

【問い合わせ】

青森県立八戸工科学院

☎(28) 6811

ホームページ

http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/job/hatikougaku_top.html

23年度学生募集

青森県営農大学校

青森県農業の担い手となり得る農業経営者を育成する県立の大学校です

■募集人員

畑作園芸課程、果樹課程、畜産課程あわせて定員
70名(推薦は定員の3分の2以内)

■受験資格

高校卒業または卒業見込みの者、または同程度の者

■募集日程・試験日程等

- ①推薦選考(作文、面接、調査書など)
出願受付:10月4日(月)～14日(木)
選考日:11月10日(水)
- ②一般募集試験(現代文、数学I、生物I、作文、面接)
出願受付:12月9日(木)～16日(木)
試験日:23年1月19日(水)

■願書の請求

封筒に「願書請求」と朱書きし、宛先を明記
した角形2号封筒(200円切手貼付)を同封し、
本校に請求してください。

願書は、高校および各地域県民局農林水産部
農業普及振興室でも入手できます。

■修業年限

2カ年(全寮制)

■修学経費

1年間 約90万円

【問い合わせ・願書請求先】

青森県営農大学校教務研修課 ☎0176-62-3111
〒039-2598 上北郡七戸町字大沢48-8



消防情報

火事は 119 番へ
 消防本部 ☎ 44-2135
 階上分署 ☎ 88-2105



季節の変わり目に入り、日を増すごとに肌寒くなってきました。体調管理に気をつけ、風邪をひかないようにしましょう。

こたつやストーブなどの暖

■上半期の火災等発生件数
 ・火災 7件 (+5)
 ・救助 2件 (+1)
 ・救急 184件 (+28)
 ※ () は前年上半期との比較

火災・救助・救急件数が増加しています

救急の豆知識



階上町では、1日平均1件の救急出動があります。

■救急要請をしてから病院へ搬送されるまで

①要請を受けて、救急隊員が現場に着くまでは5〜15分。

救急車が現場に行つて、患者を病院へ搬送するまでは、意外に時間がかかります。救急車が到着するまでに、皆さんができることはないでしょうか。

- ②現場に着いたら、救急車に収容し、救急救命士の隊員を中心に処置
- ③処置を行いながら、病院へ搬送。階上町の場合、八戸市内までの搬送が多いため、15〜20分ほど時間を要します。

■救急に関する知識、技術に身につけませんか

階上分署では、救急講習、普通救命講習、上級救命講習など、救急の知識、技術を広めるための講習を行っています。

・救急講習 応急処置の仕方や、AEDの使い方を学びます。ある程度の人数が集まれば、受講することができます。

家族のため、友達のため、誰かのために！救急講習を受講してみたい方は、分署までお問い合わせください。

交番情報

事件は 110 番へ
 階上交番 ☎ 88-2022
 田代駐在所 ☎ 88-2110



キノコ採りの遭難をなくそう

山岳遭難は、残された家族はもちろん、地域の方々にも大きな迷惑をかけます。

21年の遭難状況

・発生件数 19件22人
 ・遭難原因の約8割が道迷いで、60歳以上の遭難者が約7割を占めています。
 ■行き先を告げて、無理はしない
 ・できるだけ2人以上で出かける。

秋の全国交通安全運動

9月21日〜30日

この時期は、秋の行楽による交通事故や、夕暮れ時の交通事故が多発する傾向にあります。交通ルールを守り、交通事故を起こさない、遭わないようにしましょう。

- ・水、食料、ライター、雨具、コンパス、携帯電話などを持つ。
- ・熊に注意！鈴などで音を出しながら歩く。

運動の重点

- ・高齢者の交通事故防止
- ・夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止 (反射材などの着用推進)
- ・全座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶



3時点灯まるくん

●平成 22 年階上町交通事故発生状況

| | 7月31日現在 | 前年同期比増減 |
|------------|---------|---------|
| 発生件数 | 19 | +2 |
| 死者 | 0 | ±0 |
| 傷者数 | 23 | +1 |
| 死亡事故ゼロ連続日数 | 1065日 | |

ふじやこの

浜辺の花

<256>

有谷 升

ツルフジバカマ (まめ科)

日当たりの良い草地でよく見られるつる草で、土手などでは他の草を覆い、川原などでは地面を這って広がる。八〜九月、葉腋(ようえき)から出る長い総状花序に多数の紅紫色の花を密につける。



緑に映えるツルフジバカマ

と、暗赤褐色になるのが特徴である。名前の「ツルフジバカマ(蔓藤袴)」は、つる性の草であり、藤色の花と、そのがくを「腰」に、花弁の形を「袴」に見立てたものとか。

北海道、本州、四国、九州と広く分布する。

史記 西物

はしかみのかたりべ

◇201◇

正部家 奨 / 作・佐藤 明 / 画

飢饉と百姓蜂起(十二)

小太郎とて十七に死せしを同じ村の二十一、二の者、其ノ親の所へ至り乞う。与えずば如何なる事をや仕懸けん

と、親も恐れて許しければ、其の親から鍬を借りて掘り出だし、簾に巻き横さまに負い

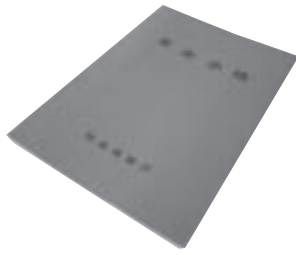
と、即ち其親があるじ勘助に語りしといひし、八日町にても餓死のものを川へ投げ込ミたるを隣村の女、十七になりけるが小刀を以テそぎ居りけるを旅人見つけたりければ、恥恐れけるにや、逃げ去りぬと旅人勘助に語りしとぞ、今は嫁入りして息災に暮らせるよし、其頃諸村を廻る事ありて見るに、塚墓をば井戸の如く掘り起こし、屍を食いたる跡恐ろしくぞ覚えしと勘助語りぬ、今夜寝ねて後寒く、又起きて爐に寄る事ありて寝ねける、今夜の歌 正之

草枕 かりねのひまも
いとまなし

いそぐに暮る、秋の短かきとそ、今日米百文に三升八合ばかりせり。

十九日、晴る、早朝に幸助所へ寄り琥珀山へ行くと告げて新酒壺升を買ふ、七十五文也、盃を借りぬ、平太郎前を過ぐるに平太郎、今行き玉ふりとして共に行かしめ樽をば馬に付けて小久慈川を渡る。南の方小道五里にして小久慈、日影村清九郎所へ寄りぬ。

年金だより



【問い合わせ】

八戸年金事務所

☎43-7369

町民課

戸籍住民グループ

☎88-2119

■ご存知ですか？ 障害基礎年金

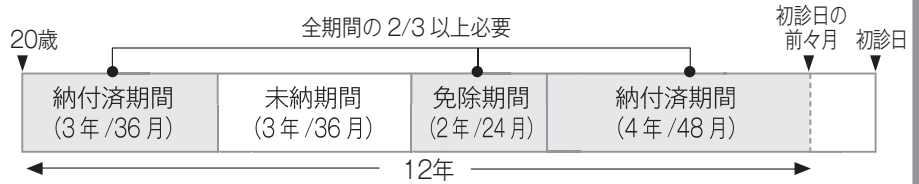
国民年金に加入している間にかかった病気やけがなどで、障がいの状態になったとき、次の要件に該当すれば、障害基礎年金を受けることができます。

障害認定日（初診日から1年6カ月を経過した日、またはその期間内に症状が固定した日）において、障害等級の1級または2級に該当した場合。

ただし、初診日の前日において、初診日の属する月の前々月までの被保険者期間のうち、3分の2以上の保険料納付済期間・免除期間（若年者納付猶予期間、学生納付特例期間を含む）があること。

※平成28年3月31日までに初診日がある場合は、特例として初診日の前々月までの直近の1年間に保険料の未納がなければよいことになっています。

例) 年金加入後、初診日の前々月までの被保険者期間が12年間だった場合



※20歳前に障がいの状態になった方は、障害等級の1級または2級に該当すれば、20歳から（障害認定日が20歳以上の場合は障害認定日から）受給できます。

珍しい！ツチアケビ

松橋勝美さん（赤保内）宅の裏山の敷地内に、バナナのような赤褐色の実をつけたツチアケビを発見！

ツチアケビは、光合成を行う葉を持たず、腐葉土から栄養を吸収する腐生植物で、森林内に生育するラン科植物。

草刈り中に発見したという松橋さんは「笹畑の中に真っ赤な実がたくさんつき、ひと際目立っていた。一瞬不気味な感じがしたが、珍しいので、思わず写真を撮った」と発見したときの様子を話していました。

8月22日撮影。高さは40～50センチほど



9月30日(木)

固定資産税 第3期
国民健康保険税 第2期
介護保険料 第2期
後期高齢者医療保険料 第2期

の納期限です。

忘れずに納めましょう。

【問】町民課税務グループ ☎88-2114

編集後記

今年の夏、取材先で最初に交わす言葉のダントツ1位は「暑いですね」。言いたくないけどつい出てしまう一言です。

秋の訪れがこんなに待ち遠しいのは、初めてかもしれません。（田中）

戸籍の窓

平成22年8月受付分（敬称略）

お誕生おめでとう

庭 璃美亜（父の名・母の名） 地区
菊地 偉光（祐太・和美） 石 鉢
信田 大雅（司・清香） 耳ヶ吠東
若宮 葉菜（崇義・幸恵） 石 鉢
上野 琴音（学・奈緒美） 道 仏
中城 志帆（利哉・一美） 晴山沢
前田 柚希（大輔・千春） 赤保内

お悔やみ申し上げます

小松 キワ（88・道仏）
上坂 由五郎（85・田代）
中城 石太郎（82・晴山沢）
高屋敷 弘（83・小舟渡）
荒谷 千太郎（77・駅前）
中屋敷 キク（95・小舟渡）
山田 賀一（84・耳ヶ吠東）
柳沢 シケ（85・角柄折）
八森 栄喜（49・道仏）

前途を祝福します

（住所または元の本籍）

（関下 正洋（耳ヶ吠東）
畑岡 千瑞（香川県丸亀市）

（希望者の分を掲載しています）

人口と世帯数

平成22年9月1日現在

総人口 14,674人（-32）
男 7,350人（-23）
女 7,324人（-9）
世帯数 5,666世帯（-14）

| 9月 | | |
|----|---|--|
| 16 | 木 | 燃やせるごみ収集日(東部地区) 粗大ごみ収集日(中央・西部地区) |
| 17 | 金 | 燃やせるごみ収集日(蒼前西地区) ポリオ予防接種(みうらクリニック 受付12:30~13:00) |
| 18 | 土 | 郡中体連秋季大会(～19日) |
| 19 | 日 | 相撲大会(道仏小) 剣道クラブ(町民体育館 10:00~12:00) |
| 20 | 月 | 敬老の日 燃やせないごみ収集(全地区)は 休み |
| 21 | 火 | 燃やせるごみ収集日(中央・西部地区) 粗大ごみ収集日(東部地区) 合同相談(ハートフルプラザ 13:00~15:00) 教育相談(ハートフルプラザ小会議室 13:00~16:00) 夜間納税相談(町民課税務グループ 17:30~19:30) |
| 22 | 水 | 空缶・空ビン・ペットボトル収集日(全地区) 雑誌・チラシ・古布・紙箱・包装紙・紙袋収集日(全地区) 3歳児健康診査(H19.1.1~19.3.31生まれ、 ハートフルプラザ 12:15~14:30) |
| 23 | 木 | 秋分の日 燃やせるごみ収集(東部地区)は 翌日 |
| 24 | 金 | 燃やせるごみ収集日(東部地区・蒼前西地区) |
| 25 | 土 | |
| 26 | 日 | 剣道クラブ(町民体育館 10:00~12:00) |
| 27 | 月 | 燃やせないごみ収集日(全地区) |
| 28 | 火 | 燃やせるごみ収集日(中央・西部地区) 民俗資料収集館開放日(9:00~16:00) 夜間納税相談(町民課税務グループ 17:30~19:30) |
| 29 | 水 | 空缶・空ビン・ペットボトル収集日(全地区) |
| 30 | 木 | 燃やせるごみ収集日(東部地区) 固定資産税第3期納期限 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療 保険料第2期納期限 |

カレンダーの内容は町ホームページにも掲載しています。(お知らせ→行事予定)

| 10月 | | |
|-----|---|---|
| 1 | 金 | 燃やせるごみ収集日(蒼前西地区) 防犯弁論大会 ポリオ予防接種(みうらクリニック 受付12:30~13:00) |
| 2 | 土 | |
| 3 | 日 | クリーンアップ・デー 野沢勝蔵杯野球大会(道仏中グラウンド 9:00) 学芸会(小舟渡小) 剣道クラブ(中央体育館 10:00~12:00) |
| 4 | 月 | 燃やせないごみ収集日(全地区) |
| 5 | 火 | 燃やせるごみ収集日(中央・西部地区) 夜間納税相談(町民課税務グループ 17:30~19:30) |
| 6 | 水 | 空缶・空ビン・ペットボトル収集日(全地区) 新聞紙・段ボール収集日(全地区) |
| 7 | 木 | 燃やせるごみ収集日(東部地区) |
| 8 | 金 | 燃やせるごみ収集日(蒼前西地区) ポリオ予防接種(みうらクリニック 受付12:30~13:00) |
| 9 | 土 | 学習発表会(階上、石鉢、赤保内小) |
| 10 | 日 | 県高校新人自転車ロードレース大会(階上岳周辺コース) 学芸発表会(大蛇、金山沢小) 剣道クラブ(町民体育館 10:00~12:00) |
| 11 | 月 | 体育の日 燃やせないごみ収集(全地区)は 休み はしかみいききフェスティバル(ハートフル プラザ 10:00~) |
| 12 | 火 | 燃やせるごみ収集日(中央・西部地区) 民俗資料収集館開放日(9:00~16:00) 夜間納税相談(町民課税務グループ 17:30~19:30) |
| 13 | 水 | 空缶・空ビン・ペットボトル収集日(全地区) 雑誌・チラシ・古布・紙箱・包装紙・紙袋収集日(全地区) |
| 14 | 木 | 燃やせるごみ収集日(東部地区) 町音楽発表会 |
| 15 | 金 | 燃やせるごみ収集日(蒼前西地区) ポリオ予防接種(みうらクリニック 受付12:30~13:00) |

各課直通電話をご利用ください

各課へのお問い合わせは直通電話のご利用をお願いします。

| | | 課名・グループ名等 | 直通電話番号 |
|----------|-------|--------------|--------------|
| 1階 | 町民課 | 税務グループ | 88-2129 |
| | | 賦課 収納 | 88-2114 |
| | | 戸籍住民グループ | 88-2119 |
| | 保健福祉課 | 健康増進グループ | 88-2219 |
| | | 福祉グループ | 88-2115・2641 |
| | 出納室 | | 88-2049 |
| 2階 | 総務課 | 農業委員会 | 88-2946 |
| | | 総務グループ | 88-2112 |
| | 産業振興課 | 企画財政グループ | 88-2113 |
| | | 産業振興グループ | 88-2116 |
| | 建設課 | 下水道グループ | 88-2120 |
| | | 土木建設グループ | 88-2118 |
| | 教育課 | 学校教育グループ | 88-2495 |
| 社会教育グループ | | 88-2698・2764 | |
| 3階 | 議会事務局 | 88-2369 | |

土・日・祝日および17:00以降のご連絡は(代)88-2111へお願いします。

10/3 日

～地球を美しい平和な星に～
階上町クリーンアップ・デー

テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、パソコンなどは収集しません。

住みよい町にすすんで取り組もう!

| ごみ収集日の地区区分 | |
|--|---|
| 中央・西部地区 | 石鉢、蒼前、野場中、角柄折、金山沢、田代 晴山沢、平内、鳥屋部、赤保内、耳ヶ吠西 |
| 東部地区 | 耳ヶ吠東、荒谷、大蛇、追越、榊、駅前 道仏、小舟渡 |
| <p>○ごみは、収集日に、自分の住んでいる地域のごみ収集所へ、朝8時までに出してください。</p> <p>○ごみの量や交通事情などにより同じ時間に収集車が来るとは限りません。</p> | |



はしかみ 議会だより

第2号

6月定例会

6月8日～11日

平成22年度第4回定例会を6月8日開会し、6月11日閉会しました。

今回の議会では、報告2件、条例の一部改正2件、補正予算2件、その他1件など、計10件が上程されました。審議の結果、いずれも原案のとおり可決、承認されました。

主な可決議案

■補正予算

平成22年度一般会計および特別会計2件の補正予算です。

▽一般会計

2,724万1千円を追加し、総額で52億4,724万1千円としました。

太陽光発電システム等導入工事に2,840万3千円、自主防災組織育成に係るコミュニケーション助成金150万円等。

▽国民健康保険特別会計
26万9千円を追加し、総額

で17億5,853万7千円としました。
システム改修業務委託料等。

■条例の一部改正

▽階上町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

配偶者の育児休業の取得の有無等にかかわらず育児休業をすることができるとする等

▽階上町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

配偶者の就業の状況にかかわらず勤務の制限の請求ができることとする等

■報告

・平成21年度階上町一般会計繰越明許費繰越計算書報告

・平成21年度階上町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書報告

■その他

・青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

ここが聞きたい 一般質問

5人の議員が登壇し、町側の考えをいただきました。要旨を掲載しています。



鹿原 章男 議員

階上中学校駐車場およびあおぞらテニスコート駐車場について

Q 階上中学校の現在使用していないプールを、駐車場として利用できないか。現在、

学校の駐車場が狭く、多くの車両が駐車できない状態。特に学校前の道路は狭く、交通事故が発生する危険がある。車がスムーズに駐車できるような駐車場の拡張が必要と思われる。

また、中央保育園跡地にオープンした、あおぞらテニスコートは、駐車場がなく、路上駐車の状態が懸念されているため、駐車場を確保して

いただきたい。

A 町長 平成19年4月のプール用途の廃止に伴い、学校側からプール跡地の駐車場整備の要望を受けている。今後使用する見込みもないことから、プールの撤去および駐車場整備を、23年度に計画している。

あおぞらテニスコートの駐車場確保については、民俗資料収集館および旧給食センター前を利用して頂くこととしている。今後は駐車場の案内板を設置し、貸し出しの際にも、利用者への旨を通知したい。



階上中学校プール



あおぞらテニスコート脇の道路

Q 階上中学校の駐車場整備は、今年度中に実施できないか。現在、行事があるごとに、生徒が出て車の整理をしており、交通事故が起きる可能性が十分考えられる。

A 町長 現在財政的な面も考え検討中。併せて検討したい。

Q プールが平成19年度から未使用になっている理由と、プールを撤去した場合の経費について。

A 教育課長 プール施設のろ過機の廃止交換、プール自

Q 第4次階上町総合振興計画の中に、階上岳や階上海岸を軸とした観光基盤の整備を推進するとの。現在、2級町道「登山口・石倉線」に植樹したオオヤマザクラは、完全に生育しているのが約250本で、約100本は枯死または雪折れ等の状態となっている。そこで、階上町の観光促進のために補植し、環境整備をすべきだと思うが、今後の取り組みについて。

A 町長 自然環境保全と観光PRを兼ねながらここ数年

2級町道「登山口・石倉線」のオオヤマザクラの植樹について

体の塗装の改修工事、また、当時プールで大分事故があり、貯水講の改修などの工事がかさむということ、夏休み期間の利用に限定されるということから、町民プールを利用する方向になった。

撤去費用は、19年度の資料で740万円程の見積もりが出ている。

Q 道路沿いに桜を植えている関係で、成長するに従い、道路に枝が伸び出てくる。管理方法を厳密に作り、管理していくため、当初予算に毎年組み入れ、計画的に管理すべきではないか。

A 産業振興課長 管理方法については、時期を見ながら対応していきたい。

A 町長 現在は、階上岳の沿道の維持管理等も含めた委託をしており、それと併せてどういう方法で管理していかば良いか検討していきたい。

下から見上げる階上岳の林道がきれいに分かれれば、これ

植樹を実施してきた。この間に山岳地という条件もあり、風雨や雪の影響を受けやすく、折れたものや枯れたものあるいは木を支える支柱が腐食したりして折れているものもある。

今年度は、風雨や雪に耐えられるように支柱の補修を町緑化推進委員会で実施し、その後、年次計画を立てて補植をしていきたい。



重文字 勝義 議員

津波災害に対応する防災施設の充実について

Q 2月27日にチリ中部沖で発生した地震の影響により、翌28日には三陸沖に大津波警報が発令され、本町においては、沿岸住民に対して避難指示が発令され、120人の住民が、町の指定した避難所や親戚などに避難した。

小舟渡地区住民の避難場所は駅前集会所と指定されたが、距離の問題等により指定場所へ避難した人はいなかった。また、避難経路は海岸に沿って避難しなければならず、安全性を考えた場合適当であったのか。

もひとつの観光地になると思うので、併せて検討していきたい。

高齢者などは、いち早く避難しなければならぬが、今後このような災害が予想される場合に、近くに一時的にでも避難できる場所が必要ではないか。

A 町長 町が指定避難所としている小舟渡小学校および小舟渡集会所が、要非難区域として定めている標高10メートルの上にある。今回、津波の高さが3メートル以上と予想されたこともあり、安心・安全確保のため、少しでも高台に避難していただきたいと考え、万全を期して駅前集会所を避難場所とした。

また、通常使用されている1級町道「駅前・小舟渡線」の小舟渡漁港付近は、最も標高が低いため、通行止めにしたが、避難場所と経路の周知等については再度検討しているところである。

Q 老朽化した第1分団屯所を高台へ移転新設することにより、地区住民が一時的にでも避難できるようにし、津波災害に強いまちづくりの推進を図る考えはないか。



第1分団屯所

▲ 町長 第1分団の屯所は、老朽化が著しいということと駐車スペースが無いことから、できるだけ早い機会に移転が必要と考えており、用地の選定について関係者にお願しているところである。

併せて、津波発生時の一時的仮避難所として使用するかどうかについては、地元行政区の意見を聞きながら総合的に判断したい。

Q 地域との連帯を図りながら、避難経路の周知徹底など、

さらなる防災力の強化に努められることを願う。

▲ 町長 安全な避難場所確保の点から、避難所の整備だけでなく、作成済みの津波ハザードマップを基にした避難経路の周知徹底に努め、地域の自主防災組織等と連携を図りながら、有事の際の非難行動につなげたい。

Q 消防団が地域防災の要であるということは言うまでもないが、屯所も同様に分団だ

けのものではなく、地域防災の拠点でもあると考えるので、是非とも早急に取り組んでいただきたい。

▲ 町長 地元と充分話し合いをしながら早急に進めていきたい。



加藤 祐 議員

ふるさと納税本町振興策について

Q ふるさと納税は、地方間格差や過疎などによる税収の減少に悩む自治体に対し、格差是正を推進するための新構想として、西川一誠氏（福井県知事）が平成18年10月に「故郷寄付金控除」の導入を提言した。20年4月30日には法律も一部改正され、5千円を超える部分について所得税控除だったのが、住民税控除もさ

らに加わり、納税者にも見返りを多くした。これに合わせ、各自治体も独自のサービスを加え取り組んでいる。

本町のふるさと納税は、平成20年度に3件、6万7千円、21年度には1件、50万円の実績となっている。納税者には、礼状と観光パンフレットのみを送付となっているが、他の自治体では、地場産の特産物などを特典として贈呈している。地産地消を合わせて考える。我が町も特産物のアピールも大いにすべき。



階上町の特産品

▲ 町長 現在、ホームページを活用し周知を図っている。

ふるさと納税は寄付金となっていることから、納税者への対応は、通常の寄付と同様に考え、お礼状と観光パンフレットのみを贈呈としてきた。当町でも内容に応じた寄付者に対する特典として、地場産品などの贈呈を検討していきたい。

Q 町のホームページで、「ふるさとのはしかみ会」の会員を募集しているが、これを機会

にふるさと納税のお願いと地場産品のPRができればと願うものである。

ふるさと納税のさらなる振興策を考えているのか、また、「ふるさとはしかみ会」の現時点での取り組みは。

▲ 町長 「ふるさとはしかみ会」は、町出身者および町にゆかりがあり関東方面に在住されている方々の相互の親睦や、交流、町との情報交換等を通じて、郷土階上のさらなる発展を目指そうという目的である。

Q 今後は、8月いっぱいをめどに会員を募集、登録し、9月に設立準備委員会を立ち上げ、年内に設立総会までこぎ着けたい。なお、会員の方々のふるさと納税のお願いについては、会設立後の状況を見ながら説明し、ご理解をいただいでいきたい。

Q ふるさと納税の寄付行為の対象額が4万円とみると、住民税の基本控除が3千5百円、その他住民税特別控除が2万8千円、所得控除が3千5百円、合計控除3万5千円

で控除対象外が5千円になる。その控除対象外の5千円の部分がふるさとの特典とし、地場産品のPRも兼ね贈呈している。4万円納税した方はその額分の見返りがあり、そのことが周知されれば、ふるさとを思う町民からの納税が増え、我が町の税問題としても助かることになると思う。

準備委員会を行政だけでなく、議会、先人の方々、ふるさと階上会に応募した方などで構成したらどうか。

▲ 町長 「ふるさととは遠きにありて思うもの」だけではなく、今は心のつながりを身近に感じている時代であると思う。今年度は町制施行30周年の年でもあり、階上町を出て活躍され頑張っている方々と交流の場を持つて、お互いの親睦を図り今後の活力になればと思いい、立ち上げた。

ふるさと納税については、今の時代、それぞれ仕事をされ、納税されている方々の税金の一部を、ふるさとへ少しでも納めていただければ、ふるさとへの振興にも役立つという内容だと思っている。この

「ふるさとはしかみ会」を通じて、納税についてはお話ししていくべきなのではと思っている。

現在、地元・現地におられる方々の中で中心となつていただける人材を、模索しながら進めている状況。議会にもお願いしていきたい。

スタートの段階で「大きく」というのは難しいと思うが、しっかりとした組織をつくつて、少しずつ小さな輪が広がっていけば、町の活性化にもいろいろな意味で寄与していただけるのではないかと思つているので、年内設立を目標にしたい。

Q 「ふるさとはしかみ会」が都会とのパイプ役となることによつて、地場産品の販路拡大にもつながると思う。

促進にあたり難しい部分もあると思うが、少しずつでも意見を出し合い、議論し合い、そして周知させていくのが私たちの仕事ではないかと思う。

▲ 町長 さまざま要素を含めた、町の振興策につながることを考えれば、各方面、各

分野の方、そしていろんな会の方々からも意見をいただき、町の発展の礎となれるように、夢と希望を持てるような組織にしたい。



山田 恵治 議員

蒼前、野場中地区の狭あい道路整備について

Q 蒼前、野場中、石鉢地区の生活環境は、ここ10年で、公共下水道の整備や道路の舗装整備・側溝整備が大分進んできた。特に私道の整備や町が進める協働のまちづくりによる私道の整備事業計画の推進によつて、飛躍的に進んでいる。

しかし、蒼前地区一帯の道路は9尺道路と言われる？。7尺幅の狭い町道が多く残されており、蒼前西一丁目、二丁目、蒼前東一丁目の住宅地

内の一部の道路は、特に拡張、改良が必要な場所と考える。

町の第4次総合振興計画の中に「快適で安心して暮らせる町づくり」を町民の願いとしている。特に、道路網の整備促進は効率的な土地利用を誘導し、本町の特性に見合った道路環境の整備をしていくとある。私達の身近な生活道路は快適な住環境を確保し、災害時の安全性を高める意味でも重要な役割を果たしている。狭い道路は防災上の観点から、拡幅・改良整備が必要だと思つた。

町長が進める協働のまちづくりの考え方を取り入れ、狭あい道路の整備を進めるべきではないか。

▲ 町長 蒼前地区には、4尺未満の未整備の狭あい道路が数多く残されており、車両のすれ違いや除雪作業に困難をきたすなど苦慮している。特に、緊急時には救急車や消防車等の通行が出来ず、搬送および消火活動等の妨げになるなどさまざまな問題が指摘されている。これまで私道部分は寄付を



蒼前地区の狭あい道路

頂き下水道整備と合わせ整備してきたが、それ以外については整備が進んでいないのが現状である。

Q 今後は、地元区長さん方の協力を得ながら、現状を把握し、必要な地域、場所について、協働のまちづくりの考え方に沿って、地元の合意形成のもと検討し、取り組んでいきたい。

Q 蒼前、野場中地区のような狭あい道路は、全国各地に多く存在する。各地域で、地主が土地を提供し、町が拡幅工事をし、生活環境の整備をしていくという考え方で、対策も進められている。狭あい道路の地区の地主の方から土

地が提供され、整備されていることが、そこに住んでいる人たちの安心・安全な生活環境、整備につながると思う。

A 町では、狭あい道路を整備する整備要項の概要が決まっているのか。決まっていなくてあれば、整備要項を作成し、PRしてこの事業を計画的に進めていただきたい。

A 建設課長 要綱等は整備していない。他の自治体では、建築基準法に規定されており、道路付近4mを確保するため必要な道路用地幅分は個人が無償提供し、また塀や庭木などの保証、測量および登記費用は行政が負担し整備を行っている事例もある。

それらを参考にしながら、協働のまちづくりの考え方に沿って、地元の合意が得られるような要項などの仕組み作りについて検討していきたい。そして、安全で住み良い町づくりを目指していきたい。



土橋 信夫 議員

県道等町内横断軸の主要道路の整備計画について

Q 多様性に富む階上町にあって、横断軸である交通通信施設の整備は町民融合の象徴的な事業と思う。次の3路線について、今後どのように整備していくのか。

① 県道名川・階上線で鳥屋部地区未整備路線
② 町道新田・石鉢線から新田・平内線の接続について
③ 野沢・法師窪線の国道からの延伸について

A 町長 ①昨年度、地域住民待望の晴山沢工区の整備工事が完了し、現在野沢地区の交差点改良が6月の完成を目指し進められている。鳥屋部地区の未整備箇所については、30年来の懸案の道路である。これまで地元区長さん方をはじめ、多くの方の協力を得ながら用地交渉を行ってきたが、未だ地権者の承諾が得られず用地交渉が大変難航している。

県においても引き続き情報収集に努め、交渉機会を探っていきたくのことであり、町としても引き続き連携していきたく。②両路線は国営八戸平原総合開拓事業により幹線農道として整備され、その後、町に移管となり現在に至っている。両路線の接続は、県道鳥屋部・十日市線の拡幅整備により、今のところスムーズな交通が確保されているものと考えている。

③本路線は海と山を結ぶ主要路線として整備され、今後利用の増大が見込まれている。現在、中山間地域総合整備事業の集落道「荒谷1」が整備中であり、この路線と国道45号・町道天当線が接続することとなり、それに伴い国道から海側へのアクセスが確保され、その早期完成が待たれているところである。

野沢・法師窪線、国道を横断しての東進については、現在の路線を整備するときに検討されたことで、道路の形状、交差点の状況から現在の場所に交差点を置けるような形に設けられ、その後、既存の道路整備をしていくという考え方のもとで、天当平に出る町道の整備が進められたと伺っている。その時において、優先順位としてそういう整備の仕方がされてきたという経緯があるが、今後は計画的に進めていきたい。

Q ①最近の交渉状況の中でいつ頃交渉したのか。また、この地区の交通安全上の問題もあり、地権者へ早めにお願いをして整備してもらいたい。

②新田・平内線には標示看板がなく、町民でも迷うことがある。町の道路として、看板設置等の整備をすることはできないのか。

旧登切小学校施設の今後の活用計画について

▲ 建設課長 ①平成18年度に交渉を行っている。ご指摘の箇所から東側の未整備区間約100坪については、すでに、平成15年から18年にかけて用地買収を完了している。

今後とも地元の協力を得ながら情報収集に努め、用地交渉をしていきたい。

▲ 町長 ①名川・階上線の県道の用地交渉については、地権者から同意を得られない理由があり、その経緯等については伺っている。プライベートルな事情もあるが、検討も含め、担当課と一緒に状況を見ながら交渉に上がりたい。

▲ 建設課長 ②今後、現地を調査して、設置を含め検討していきたい。

新田・石鉢線の接続についても、八戸平原の事業区域内、県道との交差点もあり、関係機関と協議しながら検討していきたい。

Q 今春閉校した登切小学校施設の管理費用の負担問題も表出すると思うが、これからの利活用について、町としてのようになっているのか。

▲ 町長 階上早生そば振興のための拠点施設として、また、地区の要望により集会施設、地区の歴史資料展示、健康増進のための運動施設として利用されることになっている。

体育館は、週2回のペースで利用されているが、集会施設としては既存の晴山沢、登切、平内各集会所との兼ね合いもあることから、まだ利用するに至っていない。

また、地区の歴史資料展示については、135年という古い歴史を持つ学校であったことや滝端遺跡、伝統芸能などがあるので、地元の意見を聞きながら資料の展示保存に努めていきたい。

そば振興施設としての利用については、現在、階上町そば振興委員会で、そば打ち体験や製粉、製麺、そば加工品の開発や販売など、受発注の拠点として活用し、さらには

そばを通じて地域の皆さんと交流や参画により地域の活性化にもつなげていきたいという思いで、色々検討している。町としても、活用状況に応じた支援をしていきたい。

施設の管理や運営費用等は、今後施設利用者との協議を行いながら、運用方法や改修費用など検討していきたい。

Q 旧登切小学校をどう活用するかという考え方の基点に、資産的価値を把握しておく、その資産をどのように活用するか充分検討し進めてほしい。現時点で、当初の目的の使用が出来なくなった場合、残債としてどのくらい資産が残っているかを基点として、そこからいろいろな活用方法が出てくると思う。

校舎建築にかかる残債7千4百万円を今年の3月をもって、後5年を残して繰上償還をし、借金がなくなったことになる。それとは別に、町の

資産であることには間違いなく、どの位の資産でどういう形で使っていくかを基本としなければならぬ。

「道の駅」「フォレストピア」

「ハートフルプラザ・はしかみ」の管理運用面について、管理費が財政を圧迫してきているという観点で民間に委譲している。新たな登切小学校の資産がどの位あり、どのよう

に活用するのか。お客さん、来訪者がたくさん来てくれるとすれば、学校施設としての基本的空間を残したとしても使いやすい構造にするには資金が必要になる。投資をするにしても、どの位の資産があるか把握が必要だと思う。資産の計算方法を、民間の資産の把握と同じような形で出していたらお教え願いたい。

▲ 総務課長 一般家庭や一般施設には資産評価基準があるが学校には基準がない。

仮に、平成7年2月完成で工事価格が約4億2千万円、耐用年数を25年とした場合、経過年数15年でその償却額を計算し残存価格とすると、約1億9千2百万円。ちなみに、30年とすると、現在の残存価格が約2億3千万円と考えている。

Q 施設を地域におろし、そば振興に当てていくとなった場合、管理費の基本的な考え方をどうするのか。面積に対する管理費、賃借料、投資等、町としての対応は。

▲ 町長 利用したい方々に集まっていたら、協議しながら、貸し館として管理の経費等を試算し計画を立てていきたい。



旧登切小学校

町議会議員県外視察研修

■実施時期 6月28日～7月1日
■視察研修先 愛媛県砥部町、香川県まんのう町
■視察人数 議長以下11人

とべちよう 砥部町

愛媛県の中央に位置し、遺跡群や伝統文化工業などの町で、資料館には多数の焼き物「砥部焼」が並ぶ。温暖な気候で、松山市のベッドタウンとして発展した町。

住民の創意工夫を生かした「町づくり」を行政と連携し取り組んでいる町である。(松森議長)

平成17年に砥部町と広田村が合併し、現在の砥部町となった。人口2万2千593人、面積101.5平方キロメートル。

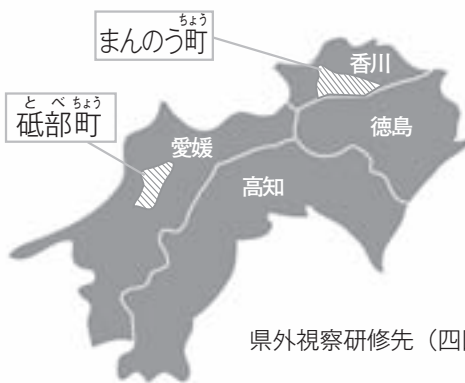
町おこしの取り組みとして「砥部の里めぐり陶街道五十三次」がある。砥部の陶磁器を町づくりのベースに名所旧跡をめぐって歩く設定。終了すると「本陣」砥部焼伝統産業会館で、ステッカーと砥部

焼製メダル、砥部町の特産物を進呈するという事業内容になっている。(土橋副議長)

歴史ある砥部焼と豊かな自然、みんなで創る陶街道を町の将来像とする、「陶街道五十三次」砥部焼の里ゾーンの街道づくり事業は、これからの階上早生そばの観光ブランド化を進める当町として、大変参考になった。(山田議員)



地球儀模様の砥部焼



県外視察研修先(四国)

○砥部町議会だより

平成14年に第1号を発行。編集委員は5人で、定例会終了後、翌月上旬にかけて編集作業を3回程度、校正作業を事務局職員も交え3回程度行い、月末に発送部数の仕分けを行う。慣れぬ作業の中、編集委員全員が協力して作成にあたっている。(松森議長)



取り入れ、分かりやすい構成になっている。特に一般質問は、質問、答弁内容を最後の質問の経緯まで簡潔明確に記載され、町の対応が活字となりはつきり示されている。(土橋副議長)

○モニターテレビ

庁舎1階ロビー、3階理事者控室、議会事務局にモニターテレビを各1台設置し、定例会、臨時会の様子を中継している。住民等に対しては、議場での傍聴だけでなく、ロビーで気軽に議会の状況に触れることができ、また、普段議場に入ることのない職員が、本会議の様子を知ることができる。(事務局長)



議会だより編集作業の見学

議会公開モニターテレビの設置で、開かれた議会としてのイメージアップが図られている。当町も本年から、モニターテレビの設置が決まっております、大変参考になる視察研修であった。(山田議員)

まんのう町 ちよう

香川県下で3番目の広さで町の中央部には日本一の満濃池がある。徳島県との県境に接する南側には、標高千メートルを超える讃岐山脈があり、その山脈を源流とする一級河川、土器川等があり、自然豊かな町に感じた。(松森議長)

平成18年に琴南町、満濃町、仲南町の3町の合併により、現在のまんのう町が誕生。人口2万5000人、面積194平方キロメートル。(土橋副議長)

○国営讃岐まんのう公園

国営公園は、良好な自然環境地域社会や経済の発展にも大きな役割を果たし、災害時には防災機能を発揮する役割も果たす。公園内には、エン



まんのう公園前にて

トランス、竜頭の里、竜頭の森、オートキャンプ場、湖畔の森、自然の生態園、健康ゾーン等がある。園内竜飛池のほとりには、2万本のアジサイ、24万本のスイセンとチューリップ、園花の庭ハーブ種、110万本のコスモス等があり、年間を通し多数の花が咲き、楽しめる。

子どもから大人まで、四季を通じて多様なレクリエーション活動が行える公園で、地域の文化、歴史、国土を活かし、イベントを通じて豊かな人間形成に役立つ公園となっている。(松森議長)

西暦701〜704年に創築されたといわれている「満



園内に咲く2万本のアジサイ

濃池」とその周辺を利用して、国営讃岐まんのう公園が設置されている。現在、整備中で、全体の45%が開園区間となっており、計画総面積は350haの規模になる。

琴平町を始め、全国有数の観光地を周辺にもち、普通寺等の有名な史跡に囲まれている中で、自然環境をコンセプトとした空間利用と多彩なイベントが、まんのう町の町おこしとなっている。(土橋副議長)

当公園は規模が大きく素晴らしい公園だが、年間投資計画は、歳出約4億円、歳入約9千万円、他は一般会計からの繰り出しで、歳出は地元雇



満濃池

用などで還元している。当町と比較すると、まんのう町の当初予算が140億円と、規模の違いが大きすぎる。(加藤議員)

国が設置する大規模公園は、全国に17カ所あり、四国に唯一のこの公園は、日本最大級である。池である満濃池に隣接する大規模公園で、健康ゾーン、環境ゾーン等7つのゾーンが計画され、現在も整備中。優れた文化的資産の保持、活用を図るものとされている。観光振興施設として、年間行事を行っているが、年間入場者数を200万人と見積もり、計画された公園は実質、年間40万人前後の入場者数になっている。

年間予算をどう見るべきか、考えさせられる視察だった。今回の視察をこれからの議員活動に生かしていきたい。大変ありがとうございました。(山田議員)

町村議会議員研修

7月14日、青森市民ホールで開催された、県下町村議会議員研修会に、議員11人が参加した。



講師は、政治アナリストの伊藤惇夫氏。

伊藤氏は昭和48年〜平成13年に自民党本部に勤務し、広報担当や民主党で事務局長を勤め、現在は政治アナリストとして執筆業の他、テレビ番組「とくダネ」や「やじうまプラス」などにも出演し活躍している。主な著書は『政党崩壊』『権力者たちの情報戦争』。その他に月刊誌や週刊誌・夕刊紙などに執筆。

講演テーマ「今後の政局・政治展望」

7月11日に行われた参院選の結果から、民主党の敗因や自民党のこれからなど、党のあり方・考え方などについて、約30年に渡る豊富な政治経験から、今後の政局・政治展望について語った。

議会の傍聴してみませんか

議会の傍聴は、受付簿に住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。一度傍聴されてみてはいかがでしょう。

【発行】 階上町議会

【編集】 階上町議会事務局

〒039-1201 階上町大字道仏字天当平1-87

TEL 0178-88-2111 (内線310) / 88-2369 (直通)

FAX 0178-88-2117

e-mail hashikami01@net.pref.aomori.jp

磨き抜かれた 技を競う



健闘！ 県消防操法大会で準優勝

8月24日、青森県消防学校（青森市）で行われた、第26回青森県消防操法大会に、第5分団が消防ポンプ自動車の部に出場し、準優勝の成績を収めました。

5分団は県大会初出場、町消防団としても26年ぶりの出場とあって、団員は、階上分署員や先輩団員らの指導を受け、夜間、休日に訓練を重ねてきました。惜しくも優勝は逃してしまいましたが、応援に駆けつけた団員、関係者からは惜しめない拍手が送られていました。



(前列) 左から南正人第5分団長、坂下利助副団長、内城慶富団長、
浜谷豊美町長、名久井敏副団長、中城清副団長
(後列) 準優勝した第5分団団員

| | | | |
|------|--------|------|-------|
| 指揮者 | 引敷林 広貴 | 3 番員 | 大江 優 |
| 1 番員 | 久保 卓也 | 4 番員 | 大江 政隆 |
| 2 番員 | 引敷林 安幸 | 補助員 | 南 勝土司 |